

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和5年第3回沖縄県議会(定例会)

10月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	照屋 守之(無所属)	知事 関係部長等
質問要旨			

1 玉城知事の政治姿勢について

- (1) 辺野古埋立て・普天間飛行場返還及び沖縄振興予算の確保について、県知事と総理大臣との対話によって解決することを求める。玉城知事の見解と対応を伺う。
- (2) 普天間飛行場返還を米国に求め、日米合意を取り付けたのが総理大臣である。現在の総理大臣と県知事がこれまでの国・県の対応、沖縄に対する思い、基地問題への県民感情等、対話を通して相互理解が深まり解決の道筋が見えてくると思う。玉城知事の見解を伺う。
- (3) 沖縄振興予算の確保についても、県知事と総理大臣とのトップ交渉に期待するものである。振興予算に対する県民の期待、予算の推移と影響、今後の県民の暮らし、経済等、対話によって総理大臣に理解を求めることが重要である。玉城知事の見解を伺う。
- (4) 県行政の危機管理意識の欠如が露呈され県民に不信感を与えている。県組織の運営上重要なコミュニケーション不足、対応の先延ばしによって大きな問題となって表面化している。この現状をどのように捉え改善するか。玉城知事、池田副知事、照屋副知事にそれぞれの役割も含めて伺う。

2 歴代県知事の基地問題と経済振興の取組について

沖縄県の基地問題や経済振興策の解決は特に重要であり、歴代の県知事は保守・革新を問わず力を入れて取り組まれてきた。このような歴代の県知事の考えや県政の取組が現在の問題解決への参考になると思う。また、沖縄の基地問題の解決は法律や決め事で進められるが、県民感情への配慮も重要であると思う。そこで伺う。

- (1) 歴代県知事は、保守・革新を問わず基地問題や県民の暮らし、経済振興に苦悩しながら本県をつくり出してきたと思う。玉城知事の見解を伺う。
- (2) 西銘県政時、本土紙が「沖縄の心とは何か」と西銘知事に問い、答えた記事があると思う。その内容について説明願う。
- (3) 西銘知事は、2度目の訪米での国防長官等との面談において、沖縄の基地問題への取組を申し入れたことがあったと思う。その内容を説明願う。
- (4) 大田県知事と橋本総理の面談の主な内容及び稲嶺県政と仲井眞県政の普天間飛行場返還問題への取組を説明願う。

3 普天間飛行場返還の解決に向けて

辺野古埋立事業の設計変更申請に係る最高裁判決を受けて、国は県知事に対して承認するよう指示した。普天間飛行場の返還は、平成8年に日米合意がなされ27年が経過している。この間、沖縄県政は、大田、稲嶺、仲井眞、翁長そして玉城知事と5代の県知事にわたり返還への取組がなされてきた。

そして今、国の指示に対する沖縄県の判断が迫られている。そこで伺う。

- (1) どのような判断にせよ、覚悟を決めないと判断ができないことだと思う。玉城知事の見解を伺う。

4 令和6年度国の沖縄振興予算の獲得について

- (1) 令和3年度から令和5年度までの3年間の沖縄振興予算額及び一括交付金の推移を説明願う。
- (2) 振興予算の減額や一括交付金の減額は県や市町村の事業、県民による政策推進にどのような影響を及ぼしているか伺う。

- (3) 令和6年度概算要求額の満額確保と一括交付金を増額させるための取組を伺う。
- (4) 7月に開催された全国議長会と総理大臣との意見交換会で沖縄振興予算確保の意見が出されている。このことについて県の見解を問う。

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和5年第3回沖縄県議会(定例会)

10月10日(火)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
2	17分	金城 勉(公明党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 基地問題の取組</p> <p>ア 9月4日の最高裁判決を受けて、県の対応を伺う。</p> <p>イ 普天間飛行場の運用停止及び返還に向けた取組はどうか。</p> <p>ウ 2013年に日米で合意され、統合計画に明記された嘉手納以南の返還交渉の進捗を伺う。</p> <p>(2) 次年度沖縄振興予算の取組について</p> <p>ア 予算獲得の見通しはどうか。</p> <p>イ 県の土建部公共工事の遅延の実態と対策はどうか。</p> <p>ウ 市町村の公共事業への影響はどうか。</p> <p>エ 沖縄振興予算の一括計上方式が導入された経緯を伺う。</p> <p>2 女性政策について</p> <p>(1) 若年妊産婦のための宿泊型施設の設置について</p> <p>(2) 県内の「特定妊婦」の実態と対策について</p> <p>3 保健・医療関連について</p> <p>(1) 学校現場における脳脊髄液減少症(漏出症ともいう)と疑われる事例の実態はどうか。</p> <p>(2) その際、病院との連携の仕方について、どう対応しているか。</p> <p>(3) 文科省から過去3回にわたって事務連絡・通達が出されているが、学校現場への周知はどうか。</p> <p>(4) 医療機関の県民への周知はどうか。</p> <p>4 沖縄における闇バイトの実態と対策について</p> <p>(1) SNSを通して若者が特殊詐欺に関わる報道がある。県内の実態はどうか。</p> <p>(2) 闇バイトに勧誘される流れはどうか。</p> <p>(3) 犯罪防止策はどうか。</p> <p>5 マイナンバーカードについて</p> <p>(1) マイナンバー、マイナンバーカードとは何か。</p> <p>(2) マイナカードをめぐるトラブルの原因は何か。</p> <p>(3) マイナカードと個人情報との関係について伺う。</p> <p>(4) マイナカードの必要性について伺う。</p> <p>6 琉球大学病院の敷地内にあるがん検査施設の10月以降の受診予約ができなくなっていることが判明したが、県の見解とどれだけの患者に影響があるか調査が必要だと思うがどうか。</p> <p>7 我が党の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和5年第3回沖縄県議会(定例会)

10月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	大城 憲幸(無所属の会)	知事 関係部長等
質問要旨			

1 南部東道路整備事業について

2006年に事業が決定し2013年より用地取得を始めた同事業。進捗状況を確認しながら、課題の整理と取組の強化を求めるため以下伺う。

- (1) 直近の総事業費と進捗率、事業完了年度及び課題を伺う。
- (2) 同道路の開通は地域のまちづくりに大きく影響するが、南城市からの要望とその対応を伺う。
- (3) 同道路開通を見越し、来年夏には外資の大手スーパーがオープンを予定している。現状の道路事情で交通量が急増した場合の影響について、その認識と対応を伺う。

2 脱炭素の取組について

- (1) 令和6年度沖縄振興予算に関する国への要請の中で、県は再生可能エネルギーの導入による脱炭素社会の実現に向けた額の確保を求めた。国から示された概算要求の評価を伺う。
- (2) 振興予算のさらなる獲得や、各省庁予算の獲得に向けた今後の取組を伺う。
- (3) 国費や独自予算を確保し、次年度は何をどの程度の予算規模で取り組むか伺う。

3 畜産振興について

農業産出額の約4割を占める畜産業は、これまで本県の第1次産業を牽引してきたが、その経営環境は一気に厳しさを増し、多くの農家から限界を訴える声が出ている。施策強化のため以下伺う。

- (1) 和牛子牛価格の下落状況と今後の見通し、その対応を伺う。
- (2) 子牛生産者を支える意味でも和牛肥育生産基盤は重要と考えるが、県内肥育生産の経過と現状を伺う。
- (3) 肥育生産基盤の強化に向けた課題と今後の方針を伺う。
- (4) 畜産振興に欠かせない屠畜場の経営も非常に厳しい。認識と対応、屠畜料値上げの議論について方針を伺う。

4 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

令和5年第3回沖縄県議会(定例会)

10月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	山内 末子(ていーだ平和ネット)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

- (1) 辺野古新基地建設問題について、政府は熟慮する県に対し、代執行を見据えた作業を着々と進めている。その前のめりの威圧的姿勢は、地方自治を愚弄する行為だと言わざるを得ない。以下伺います。
 - ア 重要な事項なだけに、岸田総理との徹底対話が必要だが計画を伺う。
 - イ 軟弱地盤やその改良工事に関わる問題について国防総省(米軍)独自の科学的分析評価は公開されているのか。県はそれを入手しているか伺う。
 - ウ 米国連邦議会調査局、連邦議会会計検査院、有力シンクタンクの軟弱地盤や辺野古新基地建設に対する見解は、どのようなものがあるか。県はそれをどう評価しているか伺う。
- (2) 国連訪問での知事の発言、プレゼンテーション、特別報告者との会談等における知事の平和の権利希求の強い姿勢は、参加者から多くの共感を呼んでいる。国連が求めている安全保障の根幹の「対話」をまさに体現をしていると、高く評価されている。成果と課題が見えてきた中、継続した働きかけが必要だと考えるが今後の取組について伺う。
- (3) 他国地位協定調査報告(韓国編)について
 - ア 在韓米軍地位協定の特徴、日米地位協定との比較について伺う。
- (4) コロナ後、地域では久しぶりに伝統芸能などの年中行事が復活し、知事も積極的に参加しているがその感想を伺う。

2 経済・雇用政策について

- (1) 2024年問題について
 - 働き方改革関連法が来年4月から施行される。人手不足という大きな課題を抱える本県の経済に、さらなる影響が出るのではと危惧するところだ。以下伺う。
 - ア 建設業、運輸・物流業の現状と課題、対応策について伺う。
 - イ 特定技能2号拡大について、介護を除く全ての分野において特定技能2号の外国人労働者の受入れが可能になり、人手不足解消に期待が高まっている。
 - (ア) 沖縄県内の直近の外国人人口の増加率及び全国比率について伺う。
 - (イ) 外国人労働者の雇用環境の充実と家庭の教育支援はセットでなければならない。外国人ルーツの子供たちの教育支援の現状はどうか伺う。
 - (2) インボイス制度がいよいよ始まる。周知不足等課題と県の関わり、県経済へ与える影響はどうか伺う。

3 災害防止対策について

- (1) 台風6号被災者の罹災証明書申請件数と認定件数を伺う。
- (2) 罹災証明申請の正確な書面の確立化について伺う。
- (3) 災害対策法適用についての県の認識と対応について伺う。

4 福祉行政について

- (1) 国際家事相談所の実績と課題、今後の方向性について伺う。
- (2) 国際家庭・交際相談支援ネットワーク構築調査事業の目的、成果、今後の展開について

伺う。

(3) 性犯罪防止対策について

ジャニーズ元社長の性加害に対する告発は国連人権委員が調査をし「深く憂慮すべき」と声明を出すなど、国内外に大きな衝撃を与えている。

ア 県内性犯罪の発生件数・検挙件数と年齢男女別件数を伺う。

イ 男性の性被害について相談体制や加害者更生プログラム等の取組について伺う。

ウ 学校における性被害対策マニュアル策定について伺う。

(4) 沖縄県の無戸籍者の実態と相談体制、各種対応策について伺う。

(5) パートナーシップ・ファミリーシップ制度の確立について伺う。

(6) 若年齢妊娠出産支援施設の設置について、民間施設「おにわ」を県事業としたことでより充実した環境整備になると期待が高まります。県全体でさらなる支援体制の拡充が求められるが計画を伺う。

5 土木行政について

(1) 県・市町村管理橋の老朽化による通行止めや規制箇所の実態と対応策について伺う。

6 教育行政について

(1) 今年度の教員採用試験の特色と採用に向けて「教員候補者名簿登載」の有効活用について見解を伺う。

7 我が会派の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和5年第3回沖縄県議会(定例会)

10月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	当山 勝利(ていーだ平和ネット)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の国連における活動について</p> <p>(1) 国連人権理事会について</p> <p>ア 人権理事会定例会の概要について伺う。</p> <p>イ 知事の口頭声明において、何を訴え、どのような反応があったのか伺う。</p> <p>(2) 国連NGO市民外交センター主催のサイドイベントのシンポジウムについて</p> <p>ア シンポジウムの概要について伺う。</p> <p>イ 何を訴えたのか、また反応について伺う。</p> <p>(3) 国連特別報告者との面談の概要について伺う。</p> <p>(4) 今回の国連訪問を今後どのように生かしていくのか伺う。</p> <p>2 地域外交について</p> <p>(1) 県の地域外交の基本的な考えについて伺う。</p> <p>(2) 県の地域外交方針策定スケジュールについて伺う。</p> <p>(3) 地域外交に関する万国津梁会議について</p> <p>ア 本会議の意義を伺う。</p> <p>イ 本会議に対して知事は何を期待するか伺う。</p> <p>3 地位協定について</p> <p>(1) 韓国における地位協定の概要と日米地位協定との相違点について伺う。</p> <p>(2) 他国地位協定調査は一連の調査を終えたが、今後の取組について伺う。</p> <p>4 県補助金について</p> <p>(1) 各部局における県補助金・助成金に関する事業数について伺う。</p> <p>(2) 県補助金・助成金のポータルサイトをつくってはどうか。</p> <p>5 ものづくり産業の高度化や競争力の強化を図る、ものづくり拠点について伺う。</p> <p>6 低炭素及び脱炭素社会の実現に向け、ZEB・ZEHの推進に向けた県の取組について伺う。</p> <p>7 室内長水路公認プールの整備について</p> <p>(1) 県内における室内長水路公認プールの有無について伺う。</p> <p>(2) 室内長水路公認プールの整備を早急に整える必要があると思われるが、取組について伺う。</p> <p>8 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

令和5年第3回沖縄県議会(定例会)

10月10日(火)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
6	17分	玉城 ノブ子(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等
質問要旨			

1 子供の貧困対策について

- (1) 18歳までの子供の医療費窓口無料化について、県の取組と国に実施を求めることについて伺う。
- (2) 教師、児童生徒を対象にしたヤングケアラーアンケート調査の結果と今後の課題と支援体制の確立、具体的支援の取組について伺う。
- (3) ヤングケアラー条例の制定について伺う。
- (4) 若年妊産婦の現状と今後の支援を拡充することについて伺う。
- (5) ひとり親世帯への支援について、これまでの取組と支援を拡充することについて伺う。

2 教育行政について

- (1) 教員定数は全て正規雇用にすべき。県の取組状況について伺う。
- (2) 教員不足や教員の長時間勤務を改善するために、教員数を大幅に増やすべきである。県は働き方改革推進課を設置しているが、具体的な取組について伺う。
- (3) 教員、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、サポートスタッフ、ICT支援員等を増員するとともに部活動への支援を行い、教師の多忙化を解消することが必要である。県の拡充策について伺う。
- (4) 教師の多忙化解消のためにも、全国学力テストの自校採点・入力業務はやめるべきである。見解を問う。
- (5) 労働安全衛生委員会の設置状況はどうか。早急に設置を進め、教職員の多忙化、メンタルヘルスの実態調査を進め、勤務時間の管理などの具体的な対策について伺う。

3 高齢者福祉について

- (1) 特別養護老人ホームの待機者数と増設計画について伺う。
- (2) 高齢者の補聴器への助成を実施することについて伺う。

4 食文化について

- (1) 2018年の食品衛生法改正に伴い、国際的な衛生管理基準HACCP(ハサップ)に沿った手引書が適用され、県内で豆腐屋を営む小売業者が販売数の減少や事業継承の危機に直面している。沖縄の食文化で歴史的アチコーコー豆腐の存続が危機に陥っている。現状と対策について伺う。
- (2) 豆腐業界の安全基準は厳しすぎると、基準作成に関わった専門家も指摘している。基準緩和等の改善について県の見解を伺う。

5 南洋群島のサイパン、テニアンとの交流事業、姉妹都市締結について

1944年6月15日から起こったサイパン戦は、残留邦人で2万人余のうち、8000人から1万人が犠牲になったと言われ、その中で沖縄出身者の犠牲は約6000人に上っている。現在でも、南洋群島の県出身戦没者を追悼する「南洋群島慰霊と交流の旅」が続いている。二度と戦争を起こさない、平和な島を求めていくためにも、沖縄とサイパン、テニアンが今後とも継続して交流事業を進めて、経済連携や姉妹都市締結ができるようにしていくことが必要である。知事の所見を伺う。

6 災害対策について

- (1) 台風災害で県道82号線のフェンスが倒壊し、歩道にひび割れが生じている。応急措置が

取られているが、十分な対策にはなっていない。県道は、児童生徒の通学路にもなっており、ひび割れが残ったままになっていて危険である。整備を早急に進めるよう求める。見解を問う。

7 漁業支援について

(1) 糸満市に設置されている高度衛生管理型荷さばき施設「イマイユ市場」の拡充と冷凍施設の建設について伺う。

8 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

令和5年第3回沖縄県議会(定例会)

10月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	上里 善清(ていーだ平和ネット)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 麻生太郎自民党副総裁が、台湾海峡の平和と安定には抑止力を機能させる軍備増強と「戦う覚悟」が求められると述べた。中国を敵視するプロパガンダであり危機を誘発する意図的な発言で、看過できない。知事の見解を伺う。</p> <p>(2) 沖縄県は全国に先駆けて、1998年から戦争遺跡詳細分布調査を実施している。戦争遺跡が果たす役割は大きく、保存・活用すべきと考える。以下のことについて伺う。</p> <p>ア 県認定の遺跡は何か所あるのか。</p> <p>イ 保存状況と活用の取組について</p> <p>(3) 政府は、県内に「土地利用規制法」を区域指定した。今回指定された南城市の久高島は私有地ではなく区の所有となっている。古謝南城市長は「不正な土地利用、機能阻害行為が行われることはあり得ない」と議会で答弁している。同法に対する県の認識と、国へ過度な規制の見直しを求めるべきと考えるが、県の見解を伺う。</p> <p>2 沖縄振興関係予算は沖縄の歴史への「償いの心」に基づき、国の責務としてスタートした。基地の過重負担を背負う歴史的、社会的な特殊事情や、地理的、自然的な条件の不利性を踏まえ、沖縄の経済自立と本土との格差是正を目的としている。しかし、来年度の概算要求予算に「防衛体制強化」の予算が組み込まれる可能性があり、本来の目的である趣旨に反していると言わざるを得ない。以下のことについて伺う。</p> <p>(1) 政治姿勢と予算額がリンクしていると思うか。</p> <p>(2) 内閣府による「一括計上方式」のメリット、デメリットについて</p> <p>(3) 県を飛び越えて市町村へ予算配分することについてどう思うか。</p> <p>(4) 来年度の概算要求予算2920億円の評価について</p> <p>3 脱炭素化の取組について</p> <p>(1) グテーレス国連事務総長は「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した」と表現した。世界各地で起きる自然災害を見ると人類の最重要課題であると認識する。県も、2030年再生可能エネルギー比率を18%及び挑戦的目標26%としています。脱炭素化に向け目標を掲げ取り組む必要がある。以下のことについて伺う。</p> <p>ア 島嶼県沖縄の今後の温暖化防止対策事業費の予算獲得目標について</p> <p>イ 建物のZEB・ZEHの導入と目標設定について</p> <p>ウ 沖縄電力の各分野(再エネ)の目標構成比率について</p> <p>エ プラスチックのリサイクル工場の建設について</p> <p>4 農林水産業について</p> <p>(1) ロシアのウクライナ侵攻の影響や異常気象による自然災害が農業に打撃を与え食料安定供給に懸念が出ている。日本の食料自給率の低い現状を考えると対策が急がれる。農林水産省も農業基本法を改正することになった。沖縄も今回の台風6号被害を教訓に、自給率向上の取組を再興する必要がある。以下のことについて伺う。</p> <p>ア 就農者数の推移(10年)と新規就農者支援策について。</p> <p>イ 主食、副食の自給率の推移(10年)と県の目標について</p> <p>ウ 農業強化の取組と支援策について</p>			

- エ 漁業従事者の推移(10年)と新規漁業者支援策について
- オ 水産物水揚げの推移(10年)と県の目標について
- カ 水産業強化の取組と支援策について
- キ 台風被害の現状と農畜産物支援策について

5 琉大病院跡地利用について

- (1) 跡地や建物について、3つのゾーンに分けて利用する「3分割案」が有力となっている。地域の発展に寄与することなので、当時の地権者は喜んで土地を提供した経緯がある。移転は残念ではあるが、地域の声と西原町の意向も酌み取った計画にしていきたい。以下のことについて伺う。

- ア 建物をそのまま活用した琉大薬学部設置の検討について

- イ 滞在型医療施設の誘致、ホテルの誘致を図りアパート空洞化を防ぐ取組について

6 教育行政について

- (1) 子供たちの豊かな学びを保障するためにも、教職員の働き方を根本から改善することが不可欠である。学校現場での現状及び課題改善について伺う。

- ア 公立学校の教職員の未配置数の現状や本土並の正規化について

- イ 中学校・高等学校の35人学級実現について

- ウ 教員の働き方改革の取組について

- (ア) 教員、学校運営をサポートする人材の確保について

- (イ) 教育(DX)の推進状況について

- (ウ) 業務の精選状況について

- (2) 高校生出前講座に参加し生徒からの意見を拝聴し、議員として取り組む必要があることに気づかされた。要望の多く出た件について伺う。

- ア 全ての生徒が利用できる県立学生寮を造ってほしいという要望について

- イ 自転車専用道路の整備をしてほしい。通学に自転車を利用したいという要望について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和5年第3回沖縄県議会(定例会)

10月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	17分	上原 快佐(無所属)	知事 関係部長等
質問要旨			
1 児童福祉行政について (1) 乳児院と児童養護施設の現状と課題について伺う。 (2) 里親と養子縁組の現状と課題について伺う。 2 GX(グリーントランスフォーメーション)について (1) 2030年温室効果ガス排出削減目標について、現状と課題及び方向性を伺う。 (2) 蓄電池と自然エネルギーの現状及び課題について伺う。 3 避難行動要支援者への対応について (1) 台風6号による避難行動要支援者の被害状況を伺う。 (2) 医療的ケア児等の機械による生命維持が必要な方の支援体制について伺う。 4 のうれんプラザのバス乗降場について (1) 年度ごとの利用実績と課題について伺う。			